

2020年6月1日  
株式会社 SDGs テック

小規模自治体に向けた「GIGA スクール構想」ワンストップ・コンサルティングを開始、  
児童・生徒総数数百名規模の自治体の環境整備もサポート

株式会社 SDGs テック（東京都渋谷区、代表取締役社長 高野雅晴）は、新型コロナウイルス拡大により、早期実現が期待される文部科学省の「GIGA スクール構想」に基づき、児童生徒の1人一台端末の調達、通信環境整備から、学習効果を高める運用支援までをワンストップで支援するコンサルティング業務を開始しました。

新型コロナウイルス拡大による2020年4月の緊急事態宣言を受け、文部科学省は「GIGA スクール構想」の早期実現の推進を表明しています。一方、導入主体となる自治体様においては給付金支給、検査体制の整備など、新型コロナウイルス対策に伴う業務量増大が予想されます。なかでも中小都市町村といった小規模な自治体においては業務が滞ることも懸念されます。

こうした課題に対応するために、SDGs テックでは前倒し対応が必要になった「GIGA スクール構想」実現に向けたきめ細かい自治体サポートを推進します。児童・生徒総数数百名規模の自治体の環境整備も積極的にサポートいたします。

具体的な支援業務内容は以下の通りです。

- (1) 対応端末の一括調達
- (2) リモート・オンライン授業も考慮した通信ネットワークとクラウド環境整備
- (3) 各小中学校における端末導入支援及び校内 LAN 整備

SDGs テックは、中小都市町村に向けた「GIGA スクール構想」実現をサポートすることで、SDGs の目標4「質の高い教育をみんなに」のターゲット4.1「2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ有効な学習成果をもたらす、自由かつ公平で質の高い初等教育および中等教育を修了できるようにする。」の達成に貢献いたします。

※GIGA：Global and Innovation Gateway for All

GIGA スクール構想は、政府が義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画を指す

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm)

※SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標で、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成を目指す

[https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

【SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」の各ターゲット実現に向けて】

SDGs テックでは今回の取り組みのほかに ICT 教育やミドルマネジメント向上プログラムの提供などを通じて、SDGs 目標4の各ターゲットの実現に向けたサービス、ソリューションを提供して参ります。

	ターゲット
4.1	2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ有効な学習成果をもたらす、自由かつ公平で質の高い初等教育および中等教育を修了できるようにする。
4.2	2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い早期幼児の開発、ケア、および就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。
4.3	2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、安価で質の高い技術教育、職業教育、および大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
4.4	2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワークおよび起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
4.5	2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民および脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
4.6	2030年までに、すべての若者および成人の大多数(男女ともに)が、読み書き能力および基本的計算能力を身に付けられるようにする。
4.7	2030年までに、持続可能な開発と持続可能なライフスタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力の文化、グローバル市民、および文化的多様性と文化が持続可能な開発にもたらす貢献の理解などの教育を通じて、すべての学習者が持続可能な開発を推進するための知識とスキルを獲得できるようにする。
4.a	子ども、障害、およびジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、すべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。
4.b	2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国および小島嶼開発途上国、ならびにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術(ICT)、技術・工学・科学プログラムなど、先進国およびその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。
4.c	2030年までに、開発途上国、特に後発開発途上国および小島嶼開発途上国における教員養成のための国際協力などを通じて、資格を持つ教員の数を大幅に増加させる。

【株式会社 SDGs テックに関して】

SDGs を達成するための「SDGs×Tech」の社会実装推進等を目的として 2019 年 8 月に設立

<https://www.sdgstech.jp>

- ・地球規模の社会課題解決につながる自律分散・参加型 ICT サービス創造
- ・「売り手(働き手)」、「買い手」、「世間」の「三方よし」に「地球」、「未来」を加えた「五方よし」の実現
- ・地域 ICT 支援で豊富な実績のある(株)ビットメディアと(株)IPパートナーズの連携による新事業創造

【本件に関するお問合せ】

株式会社 SDGs テック 小原

メール: [info@sdgstech.jp](mailto:info@sdgstech.jp)